

第 8 章

労働委員会活性化に向けた取組

第8章 労働委員会活性化に向けた取組

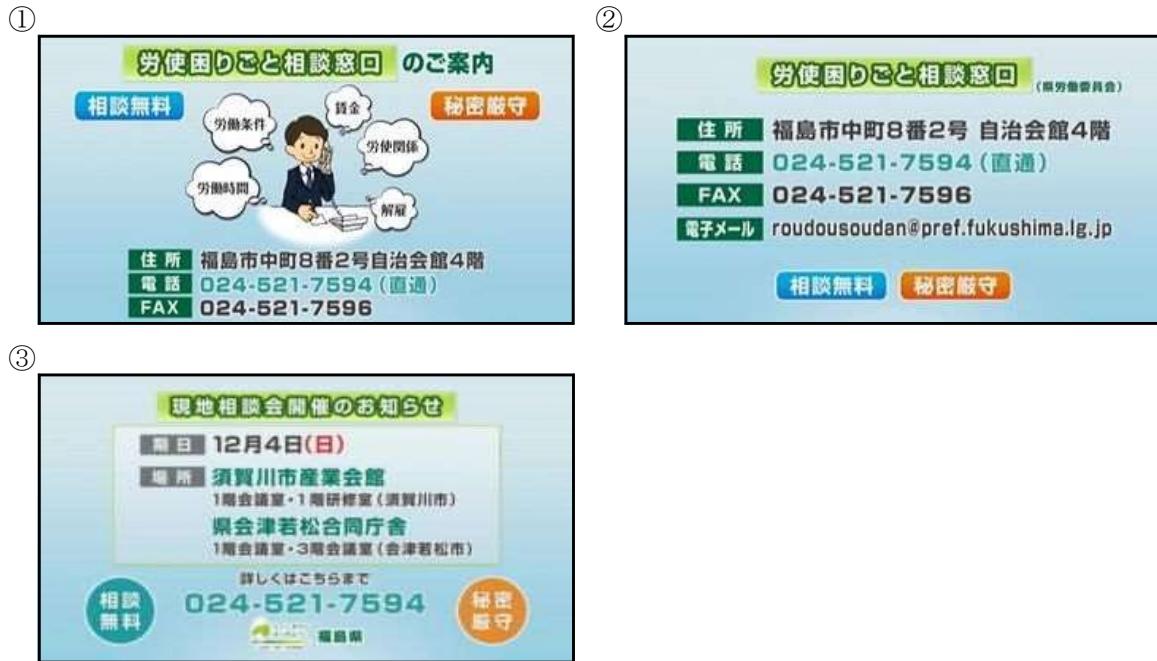
近年、雇用形態の多様化による非正規雇用労働者の割合の増大や、労働者に長時間労働等の過酷な労働を強いるブラック企業の社会問題化等により、労働を取り巻く環境は大きく変化しており、その中で生じる労使紛争もより複雑化、多様化している。

こうした中で、労働委員会が労使紛争の未然防止や早期、円満な解決のためにその役割をより一層発揮できるよう、労働委員会活性化に向けた取組を行った。

1 広報・周知活動

- (1) 電話、来所等による労働相談の窓口を周知するため、テレビ・ラジオ30秒スポット放送（県政広報枠により随時放送）等により広報した。

[30秒スポット放送画面]



- (2) 「労働困りごと相談会」7月、10月及び12月に実施するとともに、当該相談会の開催について次のとおり広報した。

- ・現地相談会を開催する近隣の市町村に対し、直接、職員が訪問し広報誌への掲載を依頼
- ・全国の労働委員会が「個別労働紛争処理制度」周知月間として周知・広報を行っている10月には、JR福島駅前及びイオン郡山フェスタ店で街頭啓発活動を実施（10月8日（土）実施。県公式マスコットのキビタンを起用し、広報用ティッシュを配布）

[街頭啓発の様子]



[広報用ポケットティッシュ]



- 地元新聞の県政広報欄に案内を掲載

[掲載実績]

新聞名	掲載年月日	告知内容
福島民報、福島民友	H28. 6. 26	第1回労働困りごと相談会開催のお知らせ
福島民報、福島民友	H28. 10. 9	第2回労働困りごと相談会開催のお知らせ

- 市町村広報誌、各種情報誌等に案内の掲載を依頼

[掲載実績]

掲載	告 知 内 容	延べ掲載数
市町村広報誌	第1～3回労働困りごと相談会開催のお知らせ	18市24町13村
各種情報誌	第1～3回労働困りごと相談会開催のお知らせ	12誌

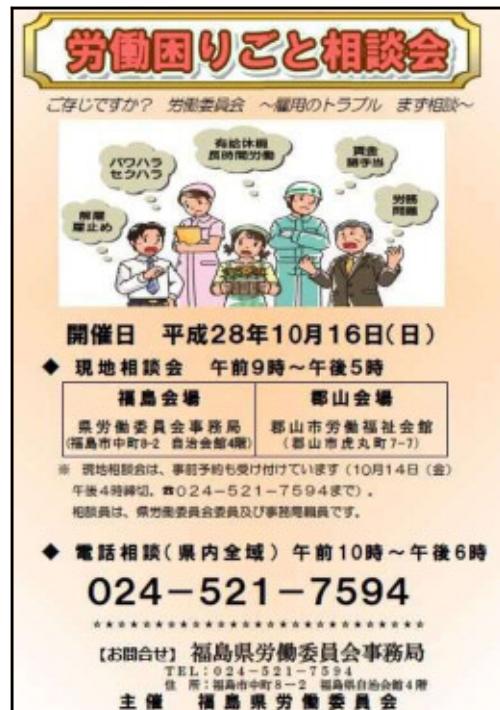
- ふくしまFM放送局のラジオ放送「キビタンスマイル～ふくしまから チャレンジはじめよう。～」（6月27日、10月7日、11月28日、それぞれ午後5時半から放送）に職員が出演して広報

- 関係機関（労働局、労働組合、経営者協会等）へ広報依頼

- ・県が包括協定を締結しているスーパーにポスターを掲示

[相談会広報用ポスター（10月開催）]

告知内容	設置店舗
第1回 労働困りごと相談会	イトーヨーカドー福島店、 ヨークベニマル門田店
第2回 労働困りごと相談会	イトーヨーカドー福島店、 ヨークベニマル浜田店、 イオン5店舗（福島店、郡山 フェスタ店、白河西郷店、 相馬店、いわき店）
第3回 労働困りごと相談会	イトーヨーカドー平店、 ヨークベニマル野田店



2 研修会等の開催

委員の研修として、総会の開催に合わせ講師（委員又は外部講師）による講演や諸会議の議題の検討を行った。

[開催実績]

年月日	演題	講師
H28. 1. 26	法的紛争解決と社会的・制度的条件 ～民法を中心に～	東北大学大学院法学研究科 教授 水野 紀子 氏
H28. 2. 23	J AM中央顧問弁護団・労働委員・ 労働審判員・組織担当者合同研究会	横山 まゆみ 委員 (労働者委員)
H28. 3. 22	グッドカンパニー(いい会社)を目指して ～安全なくして企業の永続なし～	永山 忍 委員 (使用者委員)
H28. 5. 24	COC+事業と大学のキャリア教育・ 就職状況について	伊藤 宏 委員 (公益委員)

年月日	演題	講師
H28. 7. 26	平成 27 年労働条件等実態調査の結果について	県雇用労政課 主任主査 菅野 浩毅 氏
	職場のメンタルヘルスについて	県福利厚生室 主任保健技師 秋山 京子 氏
H28. 8. 23	自治労の組織概要と活動について	八巻 由美 委員 (労働者委員)
H28. 11. 22	人事委員会の制度と活動	国立大学法人福島大学 名誉教授 今野 順夫 氏

3 ワークルール出前講座の実施

就職前の大学生、高校生などを対象に、労使紛争の未然防止を図るため労働に関する基本的な知識（ワークルール）を普及啓発するワークルール出前講座を実施した。

(1) 開催実績

	場所	月日	講師	受講者数
1	帝京安積高等学校	H28. 2. 10	吉高神 明 委員 (公益委員)	400名
2	テクノアカデミー浜	H28. 2. 26	国分 しのぶ 委員 (労働者委員)	41名
3	福島県私立中学高等学校保護者会	H28. 5. 27	吉高神 明 委員 (公益委員)	56名
4	テクノアカデミー会津	H28. 6. 15	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	43名
5	連合福島 県北地域連合会	H28. 7. 27	駒田 晋一 委員 (公益委員)	80名
6	県立会津第二高等学校	H28. 10. 20	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	23名
7	県立遠野高等学校	H28. 11. 1	小泉 長平 委員 (使用者委員)	53名
8	県立福島中央高等学校	H28. 11. 9	八巻 由美 委員 (労働者委員)	71名
9	福島大学	H28. 11. 16	吉高神 明 委員 (公益委員)	140名
10	福島東稜高等学校	H28. 12. 7	高橋 由紀子 委員 (労働者委員)	88名

	場 所	月 日	講 師	受講者数
11	テクノアカデミー郡山	H28.12.9	星 逸朗 委員 (使用者委員)	48名
12	会津大学	H28.12.14	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	70名
13	県立喜多方桐桜高等学校	H28.12.16	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	185名
14	会津大学短期大学部	H28.12.22	穴澤 耕二 委員 (使用者委員)	73名
				計 1,371名受講

ワークルール出前講座の実施状況

	高 校	専門学校	大 学	その他	合 計
平成26年	—	—	1	—	1
	—	—	50名	—	50名
平成27年	7	3	3	1	14
	1,196名	163名	89名	76名	1,524名
平成28年	7	3	3	1	14
	876名	132名	283名	80名	1,371名

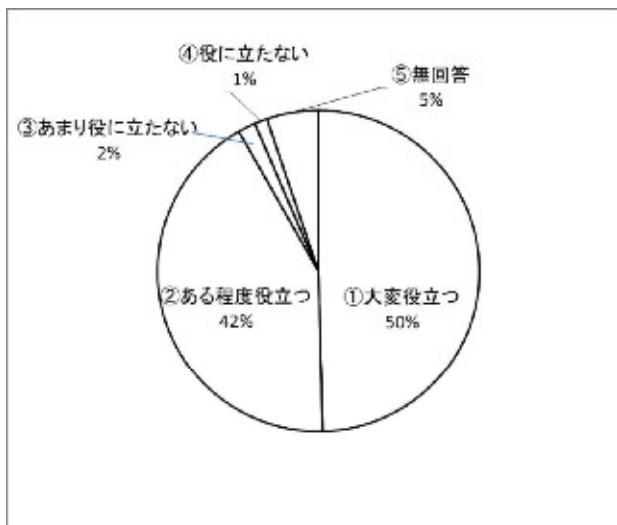
(注) 表中上段が実施回数、下段が受講者数となっている。また、高校での実施には保護者会での実施も含んでいる。

(2) アンケート結果

受講者アンケートでは、①「大変役に立つ」が50%、②「ある程度役に立つ」が42%とあわせて92%となっており、高い評価を得ている。

ワーカルール出前講座を受講した学生や生徒からは、「夢を実現するために勉学に励んでいるので、今回の講座をきっかけに働くということについて深く知ることができてよかったです。」「仕事をするにあたって大切なこと、就職活動するにあたって知っておかなければならないことが分かりやすく簡潔に説明されていて理解することができた。」「働いていて困った時に相談できる場所があることが分かりとても安心した。」などの感想が寄せられた。

[アンケート結果]



注 左グラフは、平成28年の全受講者数1,371名のうち回答があった1,253名における回答の割合を表す。

[ワークルール出前講座の様子]



連合福島 県北地域連合会
(H28. 7. 27 講師：駒田委員)



県立福島中央高等学校（定時制）
(H28. 11. 9 講師：八巻委員)



県立遠野高等学校
(H28. 11. 1 講師：小泉委員)

福島放送 スーパーJチャンネル 平成28年12月14日（水）放送
会津大学（H28.12.14 講師：穴澤委員）



4 東北地区労使関係セミナーの開催

近年、過重労働や職場の人間関係等が要因でメンタルヘルスに不調が生じ、労働者と企業との間で労働トラブルになる事例が増加してきていることから、ハラスメント対策やメンタルヘルスの予防・早期発見・再発防止等の取組が企業の課題となってきている。

このため、本セミナーでは「働きやすい職場環境の形成について～ハラスメント対策とメンタルヘルスケア～」をテーマとし、実務に役立つ専門家の基調講演と具体的な取組事例や紛争解決制度について、パネルディスカッションを行った。

期 日 平成28年11月7日（月）13:00～16:00

場 所 エスピアル福島 ネクストホール5階

参加者 企業の人事担当者、労働組合の役職員及び関係機関職員 74名

主 催 中央労働委員会、福島県労働委員会

(1) 基調講演

○演題 「働きやすい職場環境の形成について」
～ハラスメント対策とメンタルヘルスケア～

○講師 中央労働委員会公益委員、慶應義塾大学大学院法務研究科教授
森戸 英幸 氏

(2) パネルディスカッション

○テーマ 「働きやすい職場環境の形成について」

～ハラスメント対策とメンタルヘルスケア～

○コーディネーター

伊藤 宏 氏（福島県労働委員会会長、国立大学法人福島大学経済経営学類教授）

○パネリスト

森戸 英幸 氏（中央労働委員会公益委員、慶應義塾大学大学院法務研究科教授）

中村 宏司 氏（福島トヨペット㈱管理本部人事担当次長）

針生 達矢 氏（福島労働局雇用環境・均等室雇用環境均等監理官）

駒田 晋一 氏（福島県労働委員会公益委員、弁護士）

